



2023年5月31日

各 位

会社名 株式会社カラダノート
代表者名 代表取締役 佐藤 竜也
(コード番号：4014 東証グロース)
問合せ先 取締役コーポレート本部長 平岡 晃
(TEL 03-4431-3770)

よくある質問と回答 (2023年5月)

日頃より、当社へのご関心を賜りありがとうございます。当社 IR 活動に関連して、投資家様からお電話やメール等で個別にお問い合わせをいただくことがございます。基本にご質問に対しては、可能な限り速やかに個別にご回答させていただいておりますが、投資家様への情報発信の強化及びフェアディスクロージャーの観点から、頂戴した主要なご質問とその回答について、下記の通り公表させていただいております。

本公表は、毎月月末を目途に継続的に公開しております。回答内容については、時点のずれによって多少の齟齬が生じる可能性があります。直近の回答内容をその時点における最新の当社方針として公表させていただきます。

Q1. インサイドセールスの人員数推移と今後の計画を教えてください。

現在、宅配水事業、保険代理事業ともに顧客獲得方法は主にインサイドセールスとなります。これまで獲得効率を維持・改善させながら体制規模拡大を行い第2四半期は第1四半期に対し約2割インサイドセールス人員を増加させました。今後も獲得効率を落とすことなく、拡大予定となります。また人員の内製・外注のバランスについても適宜、投資効率を鑑み、最適な構成にすべく、体制構築を進めてまいります。

Q2. 第2四半期のストックモデルのKPIのARPUが低下した主な要因を教えてください。

ARPUは宅配水事業、保険代理事業を合算して開示しています。低下した主な要因は2点となります。1点目は保険代理事業のビジネスモデルに起因し、契約初年度の保険料収入が、次年度以降の保険料収入に比べて高いため、次年度保険料収入に関する契約者が増加することにより、ARPUが低下するためとなります。2点目は宅配水事業のARPUは保険代理事業に対して安価なことから、宅配水事業の期末契約者数の構成比が高まったことによって全体のARPUが低下したためとなります。2023年7月期末におけるARPUについては、一定の低下を織り込んでおります。

<本件に関する問い合わせ先>
株式会社カラダノート
IR 担当
ir@karadanote.jp

Q3. ストック型ビジネスの売上高推移について教えてください。

2021年7月期第3四半期からストック型ビジネスへの切り替えを進めており、2022年7月期については、約15%程度がストック型ビジネスに関連した売上となっております。中期経営計画を実現すべく、2023年7月期もストック型ビジネスの成長を一層加速させ売上は堅調に推移しております。

Q4. シニア向け施策の取組について教えてください。

当社は2012年以降ヘルステックアプリをリリース、運営してきました。現在、ヘルスケアアプリの月間利用者数は、約20万人の方にご利用いただいております。メインユーザー層は50～60代であり、当社の定義している初孫世代と同世代となっております。今後はアプリでの接点を活かした収益化も順次進めてまいります。

■問い合わせ先

株式会社カラダノート

IR担当メールアドレス：ir@karadanote.jp

■IRウェブサイト：<https://corp.karadanote.jp/ir>

最新の決算短信や決算説明資料などの決算情報、情報や株主総会関連資料のほか、個人投資家様向けのページなどをご用意しております。

■サステナビリティページ：<https://corp.karadanote.jp/sustainability>

当社のマテリアリティマップや、環境、社会、ガバナンスに関する取り組みをご紹介します。

■IRメールマガジン登録：

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSccFipEzHZ014nd712jzRksnMumr-RbscesZZTGgzZ3WdCwYQ/viewform>

適時開示や当社からのニュースを随時ご案内いたします。

以上

<本件に関する問い合わせ先>

株式会社カラダノート

IR担当

ir@karadanote.jp